2階床梁伏図

A1：1/200
A3：1/400

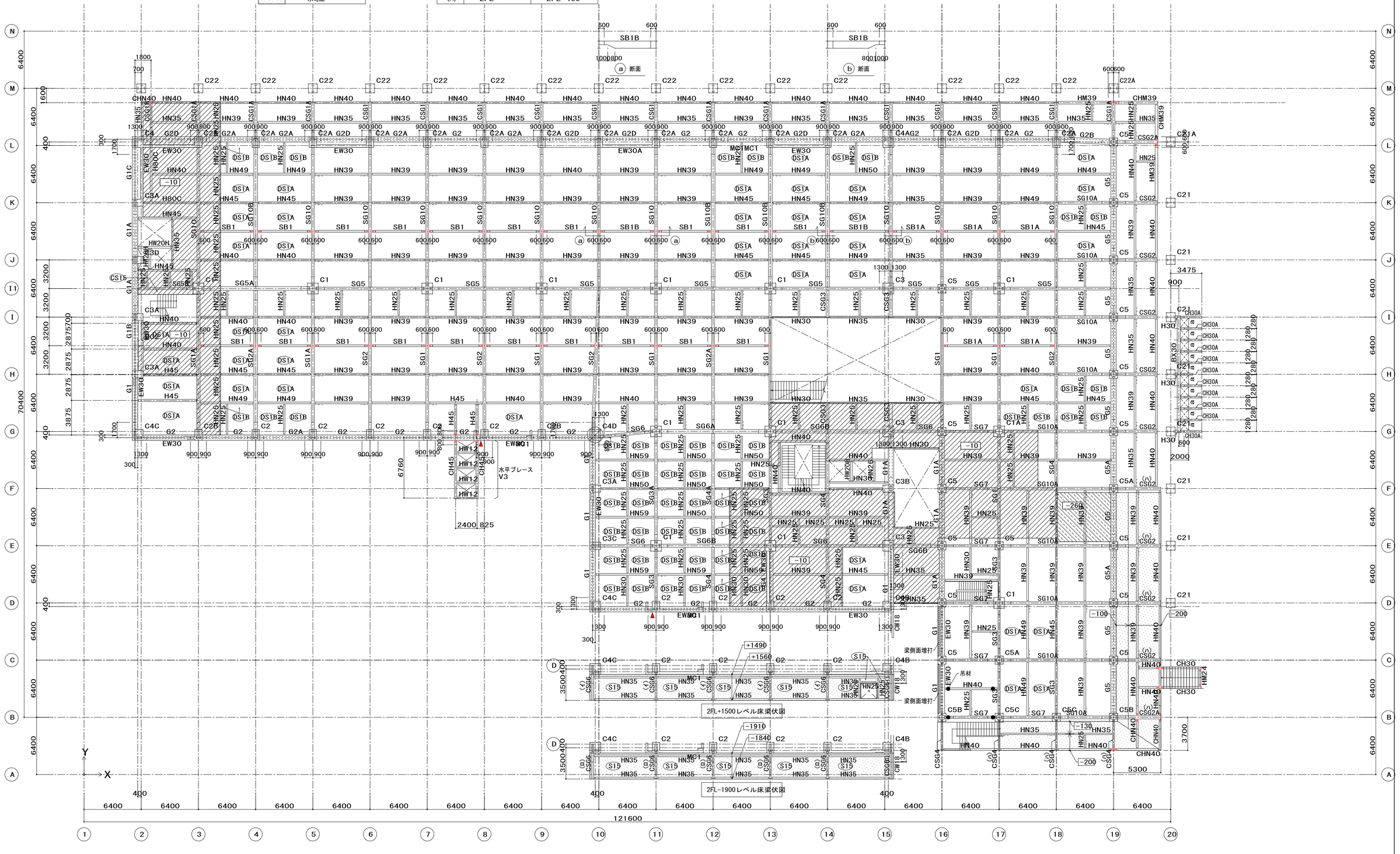
注）特記なき限り、下記による。
1. 床スラブ天端レベルは 下記による。
□内の数値は、FLからの床スラブ天端レベルを示す。

凡 例	床スラブ天端レベル
無印	2FL−110
	2FL−10
	2FL−260
	水勾配

2. 鉄骨梁天端は 下記による。
鉄骨小梁は、原則としてスラブ下端に合わせる。

符号	SRC梁天端レベル	S梁天端レベル
特記なし	2FL−110	2FL−260
(イ)	−	2FL+1340
(ロ)	−	2FL−2060
(ハ)	2FL−	2FL−460

3. ——|——|——で示す記号は梁の継手位置を示し、
特記なき限り継手位置は通芯より 1300 とする。
4. 図中 —|— 印は、鉄骨小梁剛接合を示す。
5. 壁符号は W18 とする。
6. 床スラブの符号は (DS) とする。
7. ‥‥‥は横補剛位置を示す。
8. ▼印は、耐震スリット位置を示す。
9. ● 印は吊材HW15を示す。



着工	平成 28年 6 25		
竣工	令和 元年 11 30		
監理		監理 日建・上田特定監理業務等共同企業体	
施工		施工 大成・大旺新洋特定建設工事共同企業体	

凡例

コンクリート壁	コンクリート壁開口	床開口部	階 段	下部2重スラブ	スラブリブ
基準FLよりの上り下り	土間コンクリート	捨てコンクリート	鉄骨階段	床水勾配	

完成図 構-31

日建・上田特定設計委託業務
共同企業体

高知市都市建設部公共建築課

担当	担当	係長	課長補佐	副参事	課長

高知市新庁舎建設工事

2階床梁伏図

構 31
4 − 7

NO. 0−140004−B